



新華ファイナンス、子会社であるマージェントが
ムーディーズ・エバリュエーションズ・インクと債券時価評価サービスで提携

上海 2007 年 12 月 12 日 - 中国の金融情報およびメディア事業をリードする新華ファイナンス・リミテッド（東証マザーズ：9399 ADR：XHFNY）は、本日、子会社であるマージェント・インク（以下、マージェント）が、仕組み債やモーゲージ債など幅広い金融商品の時価評価サービスの提供に関して米国ムーディーズと提携することを発表しました。提携の一環として、ムーディーズは、マージェントの時価評価サービスを取得することになります。取引の詳細は明らかにされておりませんが、本取引による当社グループに与える影響は軽微であると見込んでおります。

本取引では、マージェントの債券時価評価サービスは、同サービスを提供するために新たに設立されるムーディーズ・エバリュエーションズ・インクに統合され、同社はまず債券に関するサービスを提供し、今後はほかの金融商品に関してもサービスを拡大していくこととなります。マージェントは、北米の社債や地方債の取引条件データベースをひきつづき提供することでこの新しい事業をサポートし、一定の年間サービス料金を徴収しながら、ムーディーズのモーゲージ証券や仕組み商品に関わる幅広いサービスを補完します。さらに、ムーディーズは、マージェントが有する債券取引条件データの販売促進も行うこととなります。

当社の最高業務執行責任者（COO）であるダニエル・コネルは次のようにコメントしています。

「総合的な時価評価サービスに対する需要が高まるなか、この戦略的提携により、両社のリソースおよび専門知識を効率的に活用することが可能になり、各社別々では不可能な高い顧客満足が実現できることになることを喜ばしく思います。市場を重視したこの提携が、力強いブランド力、専属の販売チーム、総合的なデータベースなどにより、時価評価サービスの発展がさらに加速すると考えております。」

マージェント・プライシング・アンド・エバリュエーション・サービス・インクは、2004年に設立され、マージェントが有する債券取引条件データベースとあわせて、顧客に対して債券の終値ベースでの時価評価サービスを提供しています。マージェントの債券取引条件データは、本契約締結以降もひきつづきマージェントが所有し販売します。



新華ファイナンスについて

新華ファイナンス・リミテッドは、中国随一の金融情報およびメディアサービスを提供する企業で、東京証券取引所マザーズに上場しています（コード：9399、ADR：XHFNY）。中国の金融市場と世界とを結ぶ架け橋として、金融機関、事業会社、情報配信業者などに対して、インデックス、格付、金融ニュース、IRサービスなどの商品を提供しています。また、子会社である新華ファイナンス・メディア（米国ナスダック：XFML）を通して、中国国内のテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、屋外メディアなどのメディアに独自のコンテンツを提供しています。グループの設立は1999年11月で、上海の事業本部をはじめとして世界11ヶ国にオフィスやニュース支局を構えています。詳細は、ウェブサイト：www.xinhuafinance.com をご参照下さい。

マーゼントについて

マーゼントは、世界中の上場企業やインデックス、取引所の事業および数値データを提供する業界屈指の企業で、新華ファイナンス（東証マザーズ：9399）のグループ会社です。米国ニューヨークとシャーロットに本拠をおき、北米の主要各都市のほか、ロンドン、東京、トロント、シドニー、上海など世界各地に営業拠点を構えています。提供サービスとしては、マーゼント・オンライン、マニュアル、ハンドブック、投資ガイド、コーポレートアクションや配当やニュースなどの情報をリアルタイムで配信するウェブベースのサービスである EventsData、地方債や社債などの債券のデータ、売り・買い・ホールドの推奨を含む独立系投資調査を提供するフォード・エクイティ・リサーチ、数値分析ツールであるマーゼント・アクティブ、ETF やその他の投資ファンドのためのインデックスインデックス事業であるマーゼント配当金優良企業インデックス、中国投資のための総合的なデータサービスであるチャイナインサイト、100もの国や地域の35,000社を上回る上場企業の情報を網羅するデータベースなどがあります。詳細は、ウェブサイト：www.mergent.com をご参照ください。